

東北 I M 連携協議会（T A I M）第 2 0 回総会

期日：令和 8 年 7 月 2 日（木）

場所：秋田県仙北市角館町 グランデールガーデン

次第

1. 開会

2. 挨拶 東北 I M 連携協議会代表幹事 庄司 孝一

3. 議長選出

4. 議事

1) 第 1 号議案

- ・令和 7 年度事業報告について
- ・令和 7 年度収支決算報告（含む、監査報告）について

2) 第 2 号議案

- ・令和 8 年度事業計画（案）について

3) その他（報告）

- ・幹事交代について

5. その他

6. 閉会

1) 第1号議案

・令和7年度事業報告

① 東北IM連携協議会総会・ワークショップ in 長井

資料1 参照

期 日 : 令和6年7月17日(木) 総会、ワークショップ
18日(金) 視察(長井ブルワリークラフトマン、他)

会 場 : タスパークホテル長井

参加人数 : 47名 各県IM、関係機関、企業等

・総会は全会一致で承認された。

② 東北IM連携協議会ワークショップ in 弘前・TAIM Awards 2025

資料2 参照

期 日 : 令和6年10月9日(木) 講演・事例紹介・ワークショップ・Award表彰
10日(金) フィールドワーク(中心市街地等)

会 場 : 弘前市民文化交流ホール ヒロロ

参加人数 : 75名 各県IM、関係機関、企業等

・「TAIM Awards 2025」表彰式 表彰報告2025(www ページ記載) 参照

ベストビジネスインキュベーター賞: ひろさきビジネス支援センター

感謝状(功労者): 星野 敏 殿 (一般社団法人JBIA 顧問)

③ 各県IMスキルアップ研修への協力

・北東北スキルアップ研修

資料3 参照

研 修 名 : 青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会
令和7年度総会・第1回スキルアップ研修会

期日場所 : 令和7年7月8日(火) 新町キューブ3階会議室

参加者数 : 21名

内 容 : 総会

県の創業支援の取組について(県企業立地・創出課)

創業・スタートアップ支援について

(東北経済産業局・産業技術革新課 伊藤総括係長)

事業・取組紹介(あおもり創生パートナーズ㈱)

令和7年度IM養成研修受講者紹介: 2名受講

情報提供交換等

研 修 名 : 青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会

令和7年度第2回スキルアップ研修会(東北IM連携協議会WS in 弘前)

→ 東北IM連携協議会ワークショップ in 弘前の報告を参照

④ J B I Aシンポジウム 2025

期 日 : 11月28日(金) 13:30~17:00

会 場 : 東京都港区 機械振興会館地下3階 研修室

参加者数 : 47名

参加内容 : ものづくり系・技術開発型スタートアップ企業支援のあり方
・事例発表 岩手県 片山 IM、福島県 木村 IM

⑤ 第20回ビジネスマッチ東北 2025

期 日 : 令和7年11月13日(木)

会 場 : 宮城県仙台市 夢メッセみやぎ

参加内容 : マッチング協力

⑥ 幹事会

「第34回東北IM連携協議会幹事会」

期 日 : 令和7年5月21日(水) 14:30~

場 所 : INTILAQ 東北イノベーションセンター会議室

協議事項 : 1) 東北IM連携協議会事業について
・R7 ワークショップ計画(山形・青森)について
・R7 青森県、南三県スキルアップ研修計画について
・他
2) その他

「第35回東北IM連携協議会幹事会」

期 日 : 令和7年2月10日(火) 14:00~~

場 所 : 仙台合同庁舎B棟 東北経済産業局5AB会議室(オンライン併用)

協議事項 : 1) 東北IM連携協議会事業について
・R7 報告(ワークショップ長井・弘前、各スキルアップ研修)
・R8 計画(秋田・福島)
・R8 計画(青森県(北三県))スキルアップ研修、南三県スキルアップ研修
・他

注) 第2部として、「東北経済産業局産業技術革新課・TAIM 役員 意見交換会」を続けて開催した。

⑦ ホームページとメーリングの運営

東北IM連携協議会ホームページ運用 : <http://www.taim.jp/>

会員の情報発信や交流のアイテムとして活用中。会員各位の活用やご意見をお待ちします。

登録数 : 140 アドレス

メーリングリストの運用 : 会員 taim05@taim.jp
役員 touhoku-im@taim.jp

・令和7年度収支決算報告

東北IM連携協議会総会ワークショップ長井 収支決算 令和7年7月17日～18日(単位:円)

収入の部					支出の部				
N o	名目	単価	員数	金額	N o	名目	単価	員数	金額
1	参加費(総会)	2,000	39	78,000	1	会場費		1	47,080
2	懇親会費	8,000	37	296,000	2	懇親会費	8,000	37	296,000
3					3	振込手数料			770
収入合計				374,000	支出合計				343,850
差引金額									30,150

東北IM連携協議会ワークショップ in 弘前 収支決算 令和7年10月9日～10日(単位:円)

収入の部					支出の部				
N o	名目	単価	員数	金額	N o	名目	単価	員数	金額
1	参加費	2,000	43	86,000	1	講師謝金		1	31,000
2	運営補助		1	38,000	2	講師旅費		1	400
3						会場費		1	6,600
収入合計				124,000	支出合計				38,000
差引金額									86,000

・青森県IMネットワーク協議会様より運営補助金として支援いただいております。

令和7年度東北IM連携協議会収支決算書

(単位:円)

収入の部					支出の部				
N o	名目	単価	員数	金額	N o	名目	単価	員数	金額
1	前年度繰越金			15,534	1	HP更新代		一式	17,930
2	WS長井残金			30,150	2	振込手数料		1	600
3	WS弘前残金			86,000	3	賞状、楯代		一式	26,400
4	利息			54	4				
5					5				
6					6				
収入合計				131,738	支出合計				44,930
差引金額									86,808

差引金額合計 86,808円は、令和8年度への繰り越しとする。

監査報告

令和7年度東北IM連携協議会の収支決算並びに関係書類について監査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和8年6月11日

監 事 佐 藤 利 雄



監 事 平 川 善 子



2) 第2号議案

- ・令和8年度事業計画（案）について

① ワークショップ開催事業

- ・東北IM連携協議会総会・ワークショップ in 仙北 (7月2日～3日開催)
- ・東北IM連携協議会 Award・ワークショップ in 郡山 (~~10月3日～10日開催予定~~)

誤記訂正：10月15日～16日予定

② 他機関との連携事業

- ・ビジネスマッチ東北2026への出展及びマッチング支援（令和7年11月12日）

③ 各県スキルアップ研修への協力

- ・青森県スキルアップ研修（年2回開催 第1回6月、第2回1月（青森市予定））

④ 山形県版IM養成研修（予定）への協力

- ・仮称：山形県版IM養成研修（計画中）の実施への協力

⑤ わたしの起業応援団（経済産業省経済社会政策室）事業への参画と協力

- ・地域主催事業との連携やJBIAと連携して事業実施を行った「Start-up Attendant 養成研修」修了生との連携事業及びSAの輩出を図る。

⑥ IM関連情報の発信

- ・全国各地域IM連携組織の事業等について、ホームページ等を活用し会員へ情報発信を行う。
- ・メーリングリストによる情報発信

東北IM連携協議会（一般会員：140名）

メーリングリストの概要

アドレス：taim05@taim.jp 管理者：斉藤方達（石巻専修大学）

*スパムメール混入が見受けられる対策としてアドレス変更を検討中。

東北IM連携協議会（役員用：21名）

アドレス：ttohoku-im@taim.jp 管理者：斉藤方達（石巻専修大学）

⑦ 事業計画立案や活動内容検討

- ・IM活動の成果指標構築検討
- ・会員の増強

⑧ その他協議会の目的に資する事業

- ・JBIA、東北経済産業局、中小企業基盤整備機構、日本立地センター等への事業協力

⑨ ワークショップ輪番について

秋田（R8）⇒福島（R8）⇒岩手（R9）⇒宮城（R9）⇒山形（R10）⇒青森（R10）

3) その他（報告）

・幹事交代について

幹事の選任（規約）：代表幹事が指名し、事務局長の同意を得て選任

・（独）中小企業基盤整備機構東北本部 幹事（4月）

現：松尾 伸一 氏 九州本部へ異動

新：有木 克昌 氏 企業支援部長へ着任

・福島県 幹事（5月）

現：相馬 由寛 氏 福島駅西口インキュベーションルーム

新：三部 香奈 氏 （一社）グロウイングクラウド

任期：令和6年4月1日～令和9年3月31日

役職	氏名	所属	備考
代表幹事	庄司 孝一	サステイナブルエネルギー開発（株）	
事務局長	斉藤 方達	石巻専修大学	
幹事	加藤 雅紹	（公財）21 あおもり産業総合支援センター	
幹事	上平 好弘	弘前大学 社会連携部	
幹事	柿崎 博美	（公財）あきた企業活性化センター	
幹事	鈴木 尚登	Be linked 代表	
幹事	飯岡 辰弥	（公財）釜石・大槌地域産業育成センター	
幹事	佐藤 亮	（一社）ビジネスサポート花巻	
幹事	伊藤 理恵	（株）スリーデイズ	
幹事	有木 克昌	（独）中小企業基盤整備機構東北本部	新任
幹事	舟越 博紀	（公財）やまがた産業支援機構	
幹事	新城 栄一	福島県ベンチャー・SOHO・テレワーカー共働機構	
幹事	三部 香奈	（一社）グロウイングクラウド	新任
監事	佐藤 利雄	SBIM 代表	
監事	平川 善子	能代商工会議所	

5. その他

東北 I M 連携協議会ワークショップ in 長井 開催報告

昨年夏のワークショップは初の開催地となる山形県長井市で実施となり、当日は総会も兼ねての開催内容となった。

J B I A 佐藤会長による基調講演に続き、東北経済産業局、三菱商事都市開発(株) (初参加) からの情報提供のほか、i-bay の取組からは長井市のインキュベーション施設の概要と創業支援体制の説明がなされた。

また、長井市でのスタートアップ企業の連携事例をワークショップの題材とし、参加者全員でワークを行い、貴重な交流と学びの場とすることができた。

会場	タスパークホテル長井 (山形県長井市館町北 6-27)
日時	令和 7 年 7 月 17 日 (木)、18 日 (金)
形式	対面のみ
参加者	48 名
内容	①総会 齊藤方達 東北 I M 連携協議会事務局長 ②挨拶 長井市副市長 齋藤環樹 氏 ③〃 東北経済産業局 産業技術革新課課長 丹野幸樹 氏 ④講演 J B I A 会長 佐藤亮 氏 顧問 星野敏 氏 ⑤情報提供 東北経済産業局 産業技術革新課課長 丹野幸樹 氏 ⑥事例発表 地域イノベーションを支えるインキュベーションマネージャーの役割と課題 i-bay インキュベーションマネージャー 岩瀬義和 氏 ⑦グループワーク、成果発表 ⑧視察 ●合同会社長井ブルワリークラフトマン ●i-bay

【詳細・効果】

この度のワークショップを踏まえ、長井市との協力体制を築きつつある。特に、長井市商工観光課、i-bay のインキュベーションマネージャーと連携体制を構築し、創業支援の体制を整備したほか、フィールドワークとして長井市に 2 件のスタートアップ企業を紹介し、長井市商工観光課、i-bay と協力して支援を実施している。

特に、長井市では県内でも地域おこし協力隊が多いが、期間満了後、創業するケースが少ない点に課題がある

この度の連携においては、地域おこし協力隊の創業を主として支援する体制となり、i-bay のインキュベーションマネージャーと当機構 I M が連携することで、他地域の地域おこし協力隊の状況を共有するほか、創業面においても県内外のパイプを活かした支援を実施する予定である。

収支報告書

1 収入		内訳
参加費	78,000	2,000 × 39 名
懇親会費	296,000	8,000 × 37 名
計	374,000	
2 支出		
懇親会費	296,000	8,000 × 37 名
会場費	47,080	宴会場利用料
振込手数料	770	きらやか銀行手数料
計	343,850	
3 繰り越し差額	30,150	

令和 8 年 2 月 9 日

東北 I M 連携協議会ワークショップ i n 弘前 報告書

1 日時

令和 7 年 1 0 月 9 日 (木) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 5 0 (講演、情報提供等)

令和 7 年 1 0 月 1 0 日 (金) 9 : 2 0 ~ 1 2 : 0 0 (視察、グループディスカッション)

2 場所

10/9 弘前市民文化交流館ホール ヒロロ 4 階 (弘前市大字駅前町 9-20)

10/10 KADARU+ (弘前市土手町 3 1)

3 概要

東北 IM 連携協議会主催ワークショップ in 弘前を開催。

(1) 主催・共催挨拶 (庄司東北 IM 代表幹事、田中弘前市副市長、東大野課長補佐)

2 日間のワークショップでの活発な意見交換や交流を通じ、連携の輪の広がりや今後の活動に新たな視点を与え、地域全体の支援力の向上につながることを期待する。

(2) ①講演「JBIA の事業活動について」(佐藤 J B I A 会長)

・創業支援には多数の知識や情報が必要であり、また、常にアップデートが求められる。今回のワークショップはネットワーク形成や I M 間の知識シェアの場としても有意義なものとした。

②報告「青森県の取り組み」(小笠原県産業立地・推進課主事)

・県内創業・起業、スタートアップ支援の取組について報告。

③情報提供「東北経済産業局の創業・スタートアップ施策について」(局福本総括)

・東北地域における創業、スタートアップ支援施策について情報提供。

④情報提供「仙台・東北から世界を変えるスタートアップの輩出を目指して」

・仙台市の起業支援、スタートアップ支援の取組について情報提供。

⑤報告「地域の現状と課題」(弘前市商工労政課、産業育成課)

・弘前市の創業支援への取組紹介及び本ワークショップテーマでもある中心市街地について報告。

・人口減少による経済活動の縮小や空き店舗の増加といった多様な課題や市民ニーズに対応することが必要と考え、補助金の導入や賑わい・魅力発信事業を実施。

・今後のまちなかのあり方を考えながら、参加市民のアイデアや事業構想の具現化を目指す「まちなか未来ラボ」を開催するなど、第 3 期中心市街地活性化基本計画の策定に向けて進めている。

⑥講演「地域におけるスタートアップエコシステム」(弘前大学 高島准教授)

・帯広(十勝地方)のスタートアップ支援の取組研究について。

・帯広市はベンチャーキャピタル出身の市長主導によるスタートアップエコシステ

ムの構築に力を注いでおり、エンジェル（アルプス技研の松井氏等）による出資といった、公金に依存しない資金調達方法によるスタートアップ推進に取り組んでいる。

- ・新しいビジネスの創発には、アクセラレーター支援が重要。支援者のスキルによって、企業の資金調達可否も変わってくるなど、支援事業者の能力向上、情報のアップデートは不可欠。起業家コミュニティのマネジメントは、イベント等、毎回異なったテーマやゲストを設定するなど参加者に新しい刺激を与え、飽きさせないことが大切。

- ・LANDのKPIはあるか。

→相談者数など設定されているが具体的な内容はお答えできない。

- ・LAND輩出創業者は域内または域外どちらが多いか。

→域内のほうが多い。

- ・帯広以外の地域を研究対象先として検討したことはあるか。

→島根県。保証協会が興味深い取り組みをしている。

（３）視察及びグループディスカッション

【視察】弘前市中心街を徒歩にて視察

【グループディスカッション】下記２テーマについて考察

- ①空き店舗を活用したスタートアップ事業や若者・移住者の定着に向けた仕組みづくりや取り組みなど自由意見
- ②地域資源を活かした新産業の創造について

○グループ発表

- ①・大学生の活用と地域おこし協力隊の活用が無い（商工系の）
 - ・民間企業のコワーキングに行政のコミットがもっとあっても良い。
 - ・ゆくゆくはスタートアップにつながり、メンターに成っていただく素地がある。
- ②・街歩きなどの情報発信が弱い（他県ではモデルコースがある（半日、1日など））
 - ・街歩き観光プランに地域おこし協力隊を活用している。学生、県外目線（盛岡）歴史コース、芸術コース、アートコース、食コース など
 - ・空き店舗をアートとして活用しては（3次元アート、年4回開催）
 - ・他県に比べると空き店舗が少ない。
 - ・空き店舗をチャレンジショップとして活用しては（備品設置、昼だけ、夜だけ）
 - ・秋田の東成瀬村の事例を参考にしている（地域おこし協力隊 60人）

○その他

- ・観光資源が多いが情報発信も含めた仕掛けが悪い。
- ・観光館にリンゴのお土産が少ない。
- ・弘前市の現在の産業構造と出荷額割合から、食産業の割合と出荷額増を推進することはもちろんだが、工業系企業の維持の他、新たな産業創造とのつなぎの産業が必要と思う。

【参加者】 10/9 講演等 75 名、10/9 交流会 62 名、10/10 視察等 35 名

R7東北IM連携協議会ワークショップ in 弘前
収支報告書

収入の部

費目	収入
青森県IMネットワーク協議会（事務局21あおもり産業総合支援センター負担）	38,000
参加費（資料代）	86,000
合計	124,000

支出の部

費目	支出
講師等謝金	31,000
講師旅費	400
会場費	6,600
合計	38,000

収支	86,000
次期繰越金	86,000

青森県インキュベーション・マネジャーネットワーク協議会
令和 7 年度事業実施報告書

項目	具体的内容
総会	開催日：令和 7 年 7 月 8 日（火） 15:00～15:15 場 所：新町キューブ 3 階会議室 参集者：19 名（IM、支援機関、青森県、等） 議 事：令和 6 度事業報告について 令和 7 年度事業計画（案）について
第 1 回スキルアップ 研修会	開催日：令和 7 年 7 月 8 日（火） 15:20～17:00 場 所：新町キューブ 3 階会議室 参集者：21 名（IM、支援機関、青森県、等） 内 容：○県の創業支援の取組について（県企業立地・創出課） ○創業・スタートアップ支援について （東北経済産業局・産業技術革新課 伊藤総括係長） ○令和 7 年度 IM 養成研修受講者紹介
第 2 回スキルアップ 研修会 （東北 IM 連携協議会 WS in 弘前）	開催日：令和 7 年 10 月 9 日（木） 13:30～ 10 日（金） 9:30～ 場 所：弘前市民文化交流館ホール ヒロコ 4 階 KADARU+（カダルプラス） 参集者：75 名（IM、支援機関、青森県、等） 交流会：62 名 市内視察、ディスカッション 35 名 内 容：アワード表彰、ワーク、視察等

※令和 7 年度 IM 養成研修 2 名受講